

# 平成22年9月定例会 一般質問

# 市政を問う

9月の定例会では8日、9日に一般質問が行われ、16人の議員が質問に立ちました。

その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目以内に要約して掲載しました。

掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

詳細な内容は、会議録を製本の後、三原市議会事務局、市役所情報公開コーナー、三原市中央図書館に置いています。また、三原市ホームページでも閲覧できますのでご覧ください。(会議録の製本には、議会終了後おおむね3ヵ月を要します。)

HPアドレス <http://www.city.mihara.hiroshima.jp>

→ 市議会 → 会議録検索

三原市議会では、24時間いつでも本会議の審議状況を視聴することができ、また本会議会議録の検索と閲覧ができるようにするため、「市議会本会議録画のインターネット映像配信」と「会議録検索システムの運用」を開始しています。

## ○会議録検索システム

「ことば・関連語・発言者・カテゴリー語句」などの検索機能を備えているので、容易に検索が可能です。

## ○本会議インターネット映像配信

「本会議、議事日程、議員名、質問項目」ごとに、見たい場面を簡単に探し出せる検索機能を備えているので、効率よく視聴することが可能です。

三原市議会

(竜王山から望む瀬戸内海)

市議会の組織  
議長・副議長  
三原市議会議員名簿  
会派の構成  
会議予定  
議会傍聴のご案内  
議決結果  
請願・陳情  
議長交際費  
みはらし議会だより  
会議録検索  
本会議録画映像

ようこそ三原市議会のホームページへ  
ここでは議会のしくみや議会の日程、議員のプロフィールなどを紹介しています。  
ご覧いただきました皆様へ、議会についてのご理解を深めていただければ幸いです。

お知らせ  
会議録検索システムと本会議録映像配信システムが、ご利用いただけます。  
(左側のメニューの「会議録検索」「本会議録画映像」をそれぞれクリックしてください。別ウィンドウが開きます。)  
更新履歴(最終更新日:平成22年7月 日)  
10/ 7/ 議事録検索システムと本会議録映像配信システムを導入しました。  
10/ 6/23 議決結果を更新しました。

三原市議会事務局  
〒723-0901  
広島県三原市藤町三丁目2番11号  
電話 (0849) 69-6130  
FAX (0849) 69-4545

三原市議会トップページ

## 公共施設の整備について



仁ノ岡 範之 議員  
にのおか のりゆき

**問** 新庁舎、南小学校、武道館、保育所の統合、旧緑ヶ丘女子商跡地、能力開発支援センター、ペアシティ三原東館跡地、本市所有の旧宮浦浄水場跡地、消防署、図書館歴史民俗資料館等、近い将来検討しなければならぬ施設の整備計画を作っているのか。

**答** これらの施設は、昭和40年代から50年代にかけて、人口急増や行政需要の拡大により建設されたものであり、施設の耐震性や老朽化の課題を抱えている。厳しい財政状況の中でも市民ニーズや施設ニーズにこたえ、市民福祉の維持、向上を図る必要がある。

今後、エリアごと、またエリアとエリアの連携等、優先順位を決めながら、年次的に公共施設の整備を行う総合的な整備再編計画を策定する。

所在不明問題が社会問題化している。これらの問題解決の方法として、郵便や新聞、牛乳などの宅配業者や電気ガス業者に協力を求めているのか。

**答** 郵便や新聞配達、宅配など個別配達を活用した安否確認は、本市の高齢者の進展、高齢者のみ世帯が増加しているなか、さらなる高齢者見守り支援活動の充実と活動のネットワーク化は高齢者施策の重要な課題であり、積極的に検討したい。

高齢者が安心して生活できる高齢者見守り支援システムを構築していく。

## 高齢者見守り支援活動について

**問** 高齢者の安否確認や



## 悪質商法から高齢者を守る取り組み



たかき たけこ  
高木 武子 議員

**問** 本市の長期総合計画後期基本計画の中でも消費生活に関わるトラブルは悪質・巧妙化し、高齢者の被害も多くなっている。①情報の活用のため、

②全国消費生活情報ネットワークシステム端末が配置されているか。③高齢者からの相談件数。④出前講座の実施状況。⑤見守りネットワーク連絡協議会は設置されているか。

**答** ①平成17年度から設置し、ネットワークで結び生かしている。②平成21年度は、60歳以上177件と、全体の32.1%になっている。③高齢者用のパンフレットを配布し活用している。④出前講座は、「うまい話にご用心」を平成21年度12



本庁5階の消費生活センター

①情報活用のため、回実施している。⑤連絡協議会の設置はしていない。見守りネットワークの一部として、消費生活相談を位置づけ、包括支援を行っている。

**答** ①公立保育所は市職員給与条例や勤務時間、休暇等の条例に基づいている。私立保育所は各保育所の給与規則、労働基準法に基づいている。②正規職員化は、市の定員管理適正化計画に基づき、職員の適正化を図っている。③市財政においては実質的な歳入減とはならない。一般財源化の有無に関わらず良質な保育サービスを提供。④今後も引き続き公立、私立が共存して、良質な保育の提供をしていく。⑤最低基準、財源保障の強化を求めている。国、県に要望を行う。

## 子育て支援の充実と保育政策について

**問** ①公立、私立保育所

## 主要国道三原く東城線恵下谷バイパス工事の促進について



まつら よしかず  
松浦良一 議員

**問** 恵下谷バイパス工事について問う。①21年度以降事業の進捗はあったのか。②用地買収や工事着手の時期について今後検討すると聞いているが、将来計画はあるのか。③早急な着工が難しいと考えるなら、県道三原く本郷線（西野―本郷）の改良計画を模索することはできないか。

**答** ①調査設計は、平成20年度までにほぼ完了しているが、その後の進展はない。②県は、厳しい財政状況や他の道路の進捗状況などを勘案し、用地買収や工事着手の時期について、今後検討するとしている。③一般県道三原本郷線は、三原東城線を補完し南北方向の連携を強化するだけでなく、国道2号の代替機能も果たし市中心部と空港へのアクセス強化となることから、本路線の早期整備

を県に対し提案していきたい。



改良が望まれる恵下谷バイパス

## 新市建設計画について

**問** 3月定例会において新市建設計画進捗率は計画の57・6%に対し47%と答弁している。①21年度末の全体と旧1市3町それぞれの進捗状況は。②6月議会全員協議会において98億5千万円の減額を含め計画の見直しをする旨説明があった。その作業はできたのか。③新庁舎の建設事業は23く26年度に事業費58億3千

万円と計画しているが、いつ新築の予定か。

**答** ①全体の進捗率は計画進捗率57・6%に対し45・8%、共通事業が計画進捗率41・7%に対し進捗率0・6%、三原地域が計画進捗率65・6%に対し58・4%、本郷地域が計画進捗率58・9%に対し74・1%、久井地域が計画進捗率32・7%に対し29・1%、大和地域が計画進捗率67・3%に対し41・3%である。②全体事業を「優先実施事業」と「検討対象事業」に区分けした。こうした事業の整理とともに、毎年度各事業の検証・精査を行う。③新庁舎建設は、合併協議において共通事業として位置づけられ、新庁舎問題調査特別委員会でも必要との中間報告があり、26年度までに建設すれば合併特例債の活用により、市の負担が半分以上になること、庁舎の法定耐用年数50年まであと5年であること、などの点にも配慮しながら、他の事業と同様に見直し作業のなかで検討を続ける。

## 産学官の連携について



たに のりあき  
陶範昭 議員

**問** 産学官の連携では、地域おこしや地産地消で新商品の開発が各地で行われている。本市ではこれまで、どのような成果が得られたのか。また、福祉のまちをめざし、目的をはっきりさせて、地域の中小企業のアイデアや技術を取り込み、福祉用具の研究開発での商品化、また三原の特性を生かした地産地消の商品のブランド化などはどうか。地域産業の活性化と雇用の創出に向けて、今後どう取り組むのか。

**答** 介護予防モデルの開発、かんきつ類を活用した商品開発、三原城の3Dによる再現など15事業を行っている。雇用の創出については、産学官連携の協議会でも取り上げ検討し、介護、福祉部門の関係業界にも働きかけていきたい。若者が三原に定着する

## 有害鳥獣対策について

**問** 有害鳥獣による、農作物やその周辺の農道、市道の法面や水路の崩壊など、被害が深刻化し、生息範囲も市内全域に拡大している。シカ、ヌー、トリア、テン、アライグマなどの被害も出ている。イノシシ被害講演会の予定はあるか。有害鳥獣が山から出ない環境作り、被害防止柵等の設置、捕獲駆除等、専門的チームを組んで取り組むべき農業政策の重点課題である。今後の取り組みはどうか。

**答** 21年度のイノシシの捕獲頭数は1047頭、20年度の875頭から172頭増えている。本年度もイノシシ対策の講習会を開催するよう日程を調整している。イノシシアドバイザー制度も活用し、補助制度も引き続き行う。広域的な駆除活動が行われるよう県へ要望していく。



市道の法面のイノシシ被害